



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月12日

上場会社名 株式会社 安楽亭

上場取引所 東

コード番号 7562 URL <http://www.anrakutei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳 先

問合せ先責任者 (役職名) 総務人事部 課長 (氏名) 町田 英之

TEL 048-859-0555

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	12,108	50.7	△1,252	—	△1,133	—	△1,353	—
2020年3月期第2四半期	8,037	△4.5	266	57.4	268	72.3	114	80.3

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △1,349百万円 (—%) 2020年3月期第2四半期 148百万円 (141.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△632.93	—
2020年3月期第2四半期	53.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	22,572	4,321	19.1
2020年3月期	21,890	5,670	25.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 4,321百万円 2020年3月期 5,670百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を現時点におきましては合理的に算定することが困難なため未定といたします。今後の動向を見極め、業績予想の開示が可能になった時点で速やかに公表いたします。

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	2,139,434 株	2020年3月期	2,139,434 株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,388 株	2020年3月期	1,343 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	2,138,048 株	2020年3月期2Q	2,138,241 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、2020年11月20日に証券アナリスト及び機関投資家向けの四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明会資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により消費活動が冷え込み、景況が急速に悪化しました。様々な経済施策により少しずつ回復傾向は見られるとはいえ、感染収束の見通しは未だ立っておらず、消費低迷状況が当面続く見込みです。

外食産業におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた店舗の休業や営業時間短縮、そして消費者の外出自粛により来客数が激減しました。店舗とお客様双方にて感染防止対策が定着してきたことにより徐々に客足は戻りつつあるものの、依然として各社とも厳しい経営環境が継続しております。

このような環境の下、当社グループは、経営理念である「食を通じて地域社会の豊かな生活文化の向上に貢献する」に基づき、お客様の基本ニーズである「安全・安心」に徹底してこだわった商品提供を堅持するとともに、店内の衛生管理を強化・徹底し、また、弁当をはじめとするテイクアウトのメニューを拡充する等、お客様に安心してご来店いただける環境づくりに注力してまいりました。あわせて、収益回復が見込めない店舗の退店やオペレーション見直しによるコスト低減等により、収益力の維持・改善に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高121億8百万円（対前年同期比50.7%増）、営業損失12億52百万円（前年同期は営業利益2億66百万円）、経常損失11億33百万円（前年同期は経常利益2億68百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失13億53百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益1億14百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 安楽亭業態

安楽亭業態の当第2四半期連結会計期間末の店舗数は171店舗であります。内訳は直営122店舗、暖簾11店舗、FC38店舗であります。

販売促進及び商品開発につきましては4月より焼肉弁当等テイクアウト商品の販売を開始し、以後メニューの多様化やWEB注文対応などサービス拡充を進めたほか、7月より、食べ放題人気の高まりに応えるべく、食べ放題メニューを大幅にリニューアルし、豪快なステーキ肉や豊富なサイドメニュー、多様なアレンジを加えてパワーアップしました。また、「プチごほうびメニュー」、「お肉&ビール モリモリ祭」、「元気をお届け！黒毛和牛メニュー」、アイドルグループ「超ときめき宣伝部」や声優鈴木みりのりとコラボフェア開催等、安楽亭の楽しさを伝える企画を多数実施し、スマホアプリやLINE配信、Twitter等を中心にお客様へのご案内を展開してまいりました。

以上の結果、安楽亭業態の当第2四半期連結累計期間の売上高は47億34百万円（対前年同期比29.2%減）となり、セグメント損失（営業損失）は1億42百万円（前年同期はセグメント利益5億12百万円）となりました。

② 七輪房業態

七輪房業態の当第2四半期連結会計期間末の店舗数は29店舗であります。内訳は直営23店舗、暖簾3店舗、FC3店舗であります。

販売促進及び商品開発につきましては、「七輪房の日」、アイドルグループ「超ときめき宣伝部」や声優鈴木みりのりとコラボフェア、「贅沢かき氷」の販売、「黒毛和牛と生ビール祭」、「山形堪能フェア」、「秋の栗づくしスイーツフェア」の開催等、七輪房の楽しさを伝える企画を多数実施し、安楽亭業態同様、LINE配信等によるご案内を展開してまいりました。

以上の結果、七輪房業態の当第2四半期連結累計期間の売上高は8億68百万円（対前年同期比26.1%減）となり、セグメント損失（営業損失）は28百万円（前年同期はセグメント利益63百万円）となりました。

③ アークミール

アークミール各業態の当第2四半期連結会計期間末の店舗数は153店舗であります。内訳は直営152店舗、FC1店舗であります。

なお、アークミール各業態には、「ステーキのどん」、「しゃぶしゃぶどん亭」、「フォルクス（ステーキ）」、「donイタリアーノ（イタリアン）」を含んでおります。

販売促進及び商品開発につきましては、「ステーキのどん」、「しゃぶしゃぶどん亭」、「フォルクス」の主力各業態において、主力メニューのリニューアル、テイクアウトの拡充等を実施したほか、「肉の日キャンペーン」、「ステーキのどんサーロインステーキフェア」、「夏の牛タンしゃぶしゃぶ食べ放題」、「フォルクス創業50周年祭」等の企画を積極的に展開し、来店促進を図ってまいりました。

以上の結果、アークミールの当第2四半期連結累計期間の売上高は63億55百万円となり、セグメント損失（営業損失）は7億80百万円となりました。

④ その他業態

その他業態の当第2四半期連結会計期間末の店舗数は10店舗であります。内訳は直営5店舗、FC5店舗であります。

なお、その他業態には、「からくに屋(焼肉)」、「国産牛カルビ本舗安楽亭(焼肉)」、「花炎亭(焼肉)」、「安楽亭ベトナム(焼肉)」、「えんらく(焼肉食べ放題)」、「春秋亭(和食)」、「上海菜館(中華)」、「香港式中華バル ネイザンロード(中華)」、「アグリコ(イタリアン)」、「カフェビーンズ(喫茶)」を含んでおります。

以上の結果、その他業態の当第2四半期連結累計期間の売上高は1億49百万円(対前年同期比14.9%減)となり、セグメント損失(営業損失)は35百万円(前年同期はセグメント損失25百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ6億82百万円増加し、225億72百万円となりました。これは、現金及び預金の増加等が要因です。負債は、前連結会計年度末に比べ20億32百万円増加し、182億51百万円となりました。これは、短期借入金の増加等が要因です。純資産は、前連結会計年度末に比べ13億49百万円減少し、43億21百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等が要因です。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ、15億6百万円増加し、50億74百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費の計上3億90百万円、未払消費税等の増加額3億77百万円等により2億22百万円の収入となりました。前年同期と比べ1億89百万円(対前年同期比46.0%)の収入の減少となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出92百万円、敷金及び保証金の回収による収入91百万円等により13百万円の収入となりました。前年同期と比べ18百万円(対前年同期比58.5%)の収入の減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入れによる収入18億円、長期借入れによる収入7億40百万円、長期借入金の返済による支出10億93百万円等により12億71百万円の収入となりました。前年同期は5億54百万円の支出でありました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、2020年5月22日に公表いたしました2020年3月期決算短信においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を合理的に算定することが困難であるため、未定とさせていただきます。緊急事態宣言は解除されましたが、現時点においても収束時期の見通しが立たない状況が続いております。従いまして、2021年3月期の業績予想につきましては、引き続き未定とさせていただきます、今後の市場動向や店舗営業の推移により、業績予想を合理的に見積もることが可能になった時点で、速やかに公表させていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,573,998	5,080,843
受取手形及び売掛金	678,520	616,829
商品及び製品	146,388	226,564
仕掛品	1,309	1,893
原材料及び貯蔵品	884,147	607,432
前払費用	441,901	399,873
その他	299,610	238,979
貸倒引当金	△4,907	△4,907
流動資産合計	6,020,969	7,167,509
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,810,324	3,606,898
機械装置及び運搬具(純額)	70,948	60,828
工具、器具及び備品(純額)	414,749	352,593
土地	6,290,349	6,290,349
リース資産(純額)	195,102	146,908
建設仮勘定	68,986	158,481
有形固定資産合計	10,850,461	10,616,061
無形固定資産		
のれん	69,876	58,474
その他	427,869	424,112
無形固定資産合計	497,745	482,586
投資その他の資産		
投資有価証券	134,525	140,198
長期貸付金	10,828	10,534
長期前払費用	377,845	330,074
繰延税金資産	306,783	277,226
敷金及び保証金	3,683,310	3,542,185
その他	34,555	33,305
貸倒引当金	△26,996	△26,926
投資その他の資産合計	4,520,852	4,306,597
固定資産合計	15,869,059	15,405,245
資産合計	21,890,029	22,572,754

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,062,389	845,559
短期借入金	2,522,572	4,245,688
リース債務	105,156	85,421
割賦未払金	252,521	237,003
未払金	545,971	585,288
設備関係未払金	54,566	12,975
未払費用	1,006,168	1,380,532
未払法人税等	156,861	237,059
未払消費税等	393,306	770,422
賞与引当金	161,175	109,253
転貸損失引当金	13,297	13,297
店舗閉鎖損失引当金	41,899	91,963
資産除去債務	15,058	28,638
その他	578,985	746,087
流動負債合計	6,909,929	9,389,190
固定負債		
長期借入金	6,766,030	6,489,428
リース債務	198,919	159,599
長期割賦未払金	796,907	755,513
繰延税金負債	103,715	104,215
役員退職慰労引当金	349,335	108,208
転貸損失引当金	22,836	16,187
退職給付に係る負債	560,640	539,885
資産除去債務	378,721	359,278
その他	132,625	330,181
固定負債合計	9,309,733	8,862,498
負債合計	16,219,662	18,251,689
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,182,385	3,182,385
資本剰余金	2,472,098	2,472,098
利益剰余金	25,054	△1,328,181
自己株式	△7,601	△7,801
株主資本合計	5,671,936	4,318,500
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,043	130
為替換算調整勘定	△1,576	△1,576
退職給付に係る調整累計額	5,049	4,009
その他の包括利益累計額合計	△1,570	2,564
純資産合計	5,670,366	4,321,064
負債純資産合計	21,890,029	22,572,754

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	8,037,359	12,108,684
売上原価	2,898,926	4,429,273
売上総利益	5,138,433	7,679,411
販売費及び一般管理費	4,872,394	8,931,751
営業利益又は営業損失(△)	266,038	△1,252,340
営業外収益		
受取利息	544	2,436
受取配当金	1,263	1,948
受取地代家賃	3,126	34,213
貸倒引当金戻入額	161	—
助成金収入	—	132,362
その他	18,950	13,547
営業外収益合計	24,045	184,507
営業外費用		
支払利息	17,648	46,233
賃貸収入原価	2,916	18,480
その他	1,116	1,345
営業外費用合計	21,680	66,059
経常利益又は経常損失(△)	268,403	△1,133,891
特別利益		
固定資産売却益	15,267	—
受取保険金	52,016	—
受取補償金	25,000	—
特別利益合計	92,284	—
特別損失		
固定資産除却損	7,895	23,923
固定資産圧縮損	50,185	—
投資有価証券評価損	39,926	—
減損損失	—	3,535
賃貸借契約解約損	5,520	125,045
災害による損失	868	—
特別損失合計	104,395	152,505
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	256,291	△1,286,397
法人税、住民税及び事業税	129,350	36,756
法人税等調整額	12,224	30,082
法人税等合計	141,575	66,839
四半期純利益又は四半期純損失(△)	114,716	△1,353,236
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	114,716	△1,353,236

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	114,716	△1,353,236
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34,053	5,174
為替換算調整勘定	△437	△0
退職給付に係る調整額	—	△1,039
その他の包括利益合計	33,615	4,134
四半期包括利益	148,331	△1,349,102
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	148,331	△1,349,102

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	256,291	△1,286,397
減価償却費	264,358	390,925
減損損失	—	3,535
のれん償却額	11,402	11,402
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△161	△69
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,100	△51,921
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△28,440	6,568
転貸損失引当金の増減額(△は減少)	△6,648	△6,648
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	—	50,063
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△1,081	△22,320
受取利息及び受取配当金	△1,807	△4,385
助成金収入	—	△132,362
支払利息	17,648	46,233
為替差損益(△は益)	73	816
固定資産売却損益(△は益)	△15,267	—
受取保険金	△52,016	—
受取補償金	△25,000	—
固定資産除却損	7,895	23,923
固定資産圧縮損	50,185	—
投資有価証券評価損益(△は益)	39,926	—
賃貸借契約解約損	5,520	125,045
災害による損失	868	—
売上債権の増減額(△は増加)	42,304	61,691
たな卸資産の増減額(△は増加)	△26,347	195,956
前渡金の増減額(△は増加)	4,865	2,737
仕入債務の増減額(△は減少)	△30,597	△216,830
未払金の増減額(△は減少)	55,406	△18,378
未払消費税等の増減額(△は減少)	△24,699	377,115
未払費用の増減額(△は減少)	△36,403	362,408
預り金の増減額(△は減少)	△24,721	179,894
前受収益の増減額(△は減少)	26,982	△21,091
その他	△26,150	162,664
小計	488,483	240,578
利息及び配当金の受取額	1,359	3,836
助成金の受取額	—	100,733
利息の支払額	△17,791	△40,637
保険金の受取額	1,831	—
補償金の受取額	25,000	—
店舗閉鎖に伴う支払額	△1,920	△85,980
災害による損失の支払額	△868	—
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△84,030	4,008
営業活動によるキャッシュ・フロー	412,064	222,537

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△183,741	△92,019
有形固定資産の除却による支出	—	△2,844
有形固定資産の売却による収入	72,449	—
無形固定資産の取得による支出	△22,288	△26,339
事業譲受による支出	△76,000	—
敷金及び保証金の差入による支出	△43,375	△22,727
敷金及び保証金の回収による収入	282,579	91,530
預り保証金の返還による支出	△5,549	△4,000
預り保証金の受入による収入	18,500	—
貸付けによる支出	△5,800	△100
貸付金の回収による収入	272	953
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	△5,308	68,707
投資活動によるキャッシュ・フロー	31,740	13,160
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	1,800,000
長期借入れによる収入	100,000	740,000
長期借入金の返済による支出	△543,729	△1,093,486
割賦債務の返済による支出	△99,676	△120,010
リース債務の返済による支出	△10,541	△54,553
自己株式の取得による支出	△430	△199
財務活動によるキャッシュ・フロー	△554,377	1,271,751
現金及び現金同等物に係る換算差額	△291	△604
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△110,863	1,506,844
現金及び現金同等物の期首残高	2,954,680	3,568,119
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,843,816	5,074,964

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)

当第2四半期において、前連結会計年度に記載した会計上の見積りを行う上での仮定についての重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	安楽亭業態	七輪房業態	その他業態	計			
売上高							
外部顧客への売上高	6,686,355	1,174,741	176,263	8,037,359	8,037,359	—	8,037,359
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	6,686,355	1,174,741	176,263	8,037,359	8,037,359	—	8,037,359
セグメント利益又は 損失(△)	512,081	63,546	△25,362	550,265	550,265	△284,226	266,038

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「安楽亭業態」セグメントにおいて、(株)FSDから2店舗を譲り受けたことにより、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては60,668千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	安楽亭業態	七輪房業態	アークミール	その他業態	計			
売上高								
外部顧客への 売上高	4,734,683	868,680	6,355,320	149,999	12,108,684	12,108,684	—	12,108,684
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	4,734,683	868,680	6,355,320	149,999	12,108,684	12,108,684	—	12,108,684
セグメント損失 (△)	△142,316	△28,237	△780,539	△35,449	△986,542	△986,542	△265,797	△1,252,340

(注) 1. セグメント損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「安楽亭業態」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては3,535千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。